

## program ※ プログラム

### ラヴェル 作曲:水の戯れ、 :亡き王女のためのパヴァーヌ

「ボレロ」でおなじみの、ラヴェル (1875~1937) はフランスの作曲家。自身もピアニストであり、優れたピアノ曲を数多く作りました。1曲目「水の戯れ」。皆さんはどんな水を思い浮かべますか? そして2曲目「パヴァーヌ」の甘美で優雅な「おフランス」の響きに身をひたしてみてください。

### ヒナステラ 作曲:アルゼンチン舞曲集

ヒナステラ (1916~1983) はアルゼンチンの作曲家。「リベルタンゴ」で有名なピアノソラの師匠です。この曲は3つの舞曲「年老いた牛飼いの踊り」「特な娘の踊り」「はぐれ者のガウチョの踊り」から出来ています。一体どんな踊りなのか、みなさんも想像してみてください。

### ガーシュウィン・イン・ファンタジー

20世紀初頭のアメリカ・ニューヨーク。鉄鋼や自動車など産業が大きく発展し、世界各地から来た移民であふれていました。その街角にいた少年、ガーシュウィン (1898~1937)。後にラヴェルも一目置くほどの作曲家になるのですが…。ガーシュウィンを愛する、シルビアさんと三船さんの夢のコラボが実現!

◆◆◆ 休憩 ◆◆◆

### スカルラッティ 作曲:ソナタ K.64 ニ短調 :ソナタ K.1 ニ短調

D.スカルラッティ (1685~1757) はイタリアの作曲家。パチカン市国にある、サンピエトロ大聖堂・礼拝堂の楽長を務めたスカルラッティ。そのバロックの響きをご堪能ください。

### バッハ 作曲/ブゾーニ 編曲:シャコンヌ

音楽の父・バッハ (1685~1750) が作ったバイオリンの名曲「シャコンヌ」。それを19世紀後半の天才ピアニスト・ブゾーニがピアノ用に編曲。腕に覚えがある人が作ったのだから難易度の高いこと! でもピアノの魅力満載です!

### シューベルト 作曲:即興曲 作品90第3 シューベルト 作曲/リスト 編曲:糸を紡ぐグレートヒェン リスト 作曲:ペトルルカのソネット 第104番

「ピアノを弾くことは神聖なこと」。そんな想いを抱く三船さんが「愛と祈り」をテーマに、大好きな曲を選びました。  
美しい旋律を持つこの「即興曲」は、まるで「歌詞のない歌」のよう。作曲後1年余でこの世を去ったシューベルトの、言葉にできない天への祈りなのかもしれません。  
「糸を紡ぐグレートヒェン」は、愛する男を一心に慕いながら歌う乙女の歌。そしてイタリアの詩人・ペトルルカが、女性への狂おしいまでの愛を歌い上げた詩・ソネット。三曲三様の声にならない「愛と祈り」を演奏します。

### リスト 作曲:スペイン狂詩曲

三船さんが最も得意とするリスト (1811~1886)。伝説のピアニストが作った豪華絢爛な響きをお楽しみください。

## profile ※ プロフィール



ピアノ

三船 優子

Yuko Mifune

幼少の頃より過ごしたニューヨークで、6歳よりピアノをはじめ。帰国後、桐朋学園大学に在学中、第57回日本音楽コンクール第1位。翌年同大学を首席で卒業。  
1990年、文化庁派遣研修員として、世界最高峰の音楽学校のひとつ、ジュリアード音楽院 (ニューヨーク) に留学。翌年ロサンゼルスにてデビューを果たす。同年10月、フリーナ・アワーバック国際ピアノコンクールで優勝。カーネギーホール、リンカーンセンターなどでリサイタルを行った。  
1992年9月帰国。拠点を日本に移し、リサイタルはもとより国内外の主要オーケストラとも共演を重ねる。  
その活動は音楽にとどまらず、2003年から6年にわたりNHK・BS2「週刊ブックレビュー」の司会としても活躍した。

歌・語り

シルビア・グラブ

Sylvia Grab



ボストン大学 音楽学部声楽科卒業。  
1997年「Jerry's Girls」以来、「アイ・ガット・マーマン」「エリザベート」「レ・ミゼラブル」「ミス・サイゴン」「三銃士」「Shoes On!」「ショー・ガール」「タイテック」など数々のミュージカル作品に出演。  
2009年は話題作の「レベッカ」でダンヴァース夫人役を演じ、第34回菊田一夫演劇賞受賞。  
2011年三谷幸喜作・演出の「国民の映画」にて、第19回読売演劇大賞優秀女優賞受賞。  
2015年10~11月には、トニー賞を受賞した名作で日本初演となる「PASSION」に出演予定。